

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第31巻第1号

発行日●2023年4月10日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第66回 消費者行動研究コンファレンスの概要

<統一論題>

ポストコロナの消費者行動

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催概要が決定しましたので、ご案内いたします。
第66回は、現地参加のみにて開催いたします。

※コミュニケーション・メディア「Zoom」等を使ったオンライン発表はございません。

—開催概要—

開催日程：2023年5月13日（土）・14日（日）

開催校：日本大学

研究会参加費：4,000円 [学生会員は2,000円]

懇親会参加費：5,000円

※研究会・懇親会とも参加申込時にクレジットカード支払い

参加申込方法：JACS Website（<http://www.jacs.gr.jp/>）にて4月10日（月）より受付開始

参加申込締切：5月7日（日）までに必ずお申込み手続きを行ってください

〔第1日目〕

10:00 - 10:05 開会の辞
10:05 - 10:35 会長講演
10:40 - 11:45 自由論題研究報告①
11:45 - 13:15 昼食休憩／役員会
13:15 - 14:25 統一論題
 解題・基調講演
14:40 - 16:20 パネルディスカッション
16:40 - 18:00 会員総会
18:30 - 20:30 懇親会

〔第2日目〕

10:00 - 12:10 特集論文セッション
 口頭発表
12:10 - 13:25 昼食休憩
13:25 - 15:00 自由論題研究報告②
15:00 - 15:15 閉会の辞

1日目に学会主催による対面の
「懇親会」を開催いたします。
ぜひご参加ください。

—統一論題—

「ポストコロナの消費者行動」

菅野 佐織（駒澤大学）

2023年春の第66回消費者行動コンファレンスは、日本大学商学部キャンパスにて、対面で開催することいたしました。対面のみでの開催は、2019年秋の第59回コンファレンスを最後に、実に3年半ぶりとなります。

2019年の年末に世界を襲った新型コロナウイルスは、約3年半の間、我々の生活に脅威と変化を与えてきました。そしていま、ようやくその脅威に収束が見え始めてきました。長らくパンデミックの脅威と共に過ごしてきた消費者の生活は、今後どのように進化するのでしょうか。また、消費者行動の研究は、どのような方向に向かっていくのでしょうか。

第66回のコンファレンスの統一論題では、「ポストコロナの消費者行動」というテーマを掲げ、世界的パンデミックの消費者行動への影響について振り返りながら、パンデミックによって加速したデジタル時代における消費者行動の進化、そして消費者行動研究の視点と方向性について、皆さんと共に考えていきたいと思っております。

今回の統一論題では、3人の先生方にご講演をしていただく予定です。

一人目の登壇者には、坂下玄哲先生（慶應大学）をお迎えし、「リアル店舗のポストコロナ対応」というテーマでお話をいただきます。パンデミックによって消費者が外出を控えるようになり、リアル店舗は売上を大幅に減少させました。最近では、徐々にリアル店舗の売上も回復基調にあるものの、消費者のオンラインショッピングへの移行や、長引く少子高齢化の影響といった課題がまだまだある状況です。坂下先生には、ポストコロナの時代を生き抜くリアル店舗の対応についてお話をいただく予定です。

二人目の登壇者には、久保田進彦先生（青山学院大学）をお迎えし、「ポストコロ

ナとリキッド消費」についてお話をいただきます。リキッド消費は、所有を伴わない新しい消費スタイルとして注目がされてきました。NetflixやSpotify、Airbnbをはじめ、消費者がモノを所有しなくとも、好きな時に好きなモノを、好きなだけ享受できる様々なサービスが登場しています。ポストコロナ時代の消費者は、所有と非所有をどのように考えていくのでしょうか。久保田先生には、ポストコロナとリキッド消費についてお話いただく予定です。

三人目の登壇者には、恩蔵直人先生（早稲田大学）をお迎えし、「サービスロボットの浸透と消費者行動」についてお話をいただきます。お掃除ロボットや配膳ロボットなどのロボット技術は、導入する企業にとって、人件費の削減につながるだけでなく、マーケティングの新たな価値の創出につながることを期待されています。恩蔵先生には、サービスロボットの採用事例と共にそれらの浸透が消費者行動に与える影響についてお話いただく予定です。

パネルディスカッションでは、司会に青木幸弘先生（学習院大学）を迎え、登壇者の先生方とのディスカッションを行っていきます。パネルディスカッションの後半では、参加されているフロアの皆さま方からのご意見・質問を頂戴しながらディスカッションを進めていく予定です。ぜひインタラクティブなディスカッションにご参加いただければ幸いです。

最後になりましたが、今回のコンファレンスの開催校をお引き受けいただいた石田大典先生と堀田治先生に心から感謝申し上げます。また、今回の学会後には、対面での懇親会も予定しております。ぜひ多くの方々にご参加いただき、目と目を合わせながらの会話を楽しんでいただければと思います。それでは、5月に皆様とお会いできることを心より楽しみにしております。

— 第22回 JACS—榎尾俊雄 論文プロポーザル賞 優秀賞 —

「企業内リードユーザー発案製品による発案者表示が購買に与える影響」

渡邊 裕也（法政大学大学院）

この度は、第22回 JACS 榎尾俊雄論文プロポーザル賞優秀賞に選出いただき、誠にありがとうございます。また、選考委員の先生方、学会員の先生方、学会を運営していただいておりますスタッフの皆様にもこの場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

私は製品開発に関わる実務家として企業に所属しながら、社会人大学院生として学術的な研究をしています。私の博士課程を通しての研究テーマは、企業内の人材を活用していかにイノベーションを起こしていくか？という問題意識から、「企業内リードユーザー」という概念に着目し、企業内リードユーザーが企業の新製品開発から販売に至る一連の流れの中でどのようにイノベーションに貢献しているかを明らかにするものになります。

ユーザーイノベーション研究において、先進性と高便益期待という二つの特徴を持つリードユーザーが、魅力的なイノベーションを起こすことが明らかになっており、そのリードユーザーは企業外だけでなく、企業内にも存在することが明示されています。その企業内リードユーザーは、リードユーザーと従業員としての特徴を併せ持ち、製品成果として新製品開発に貢献することが明らかになっております。私はその企業内リードユーザーの中でも、小売業において顧客接点を持つ店舗販売員に焦点を当て、通常の業務である販売だけでなく、新製品開発において発案した製品の製品成果と発案者成果を考察することを想定しております。

すでに公刊されている研究においては製品成果として、企業内リードユーザー発案製品

の市場でのパフォーマンス評価を明らかにしました。さらに、今回の学会で報告させていただきました研究では、ユーザーが発案したという表記により、消費者の購買意向が高まる発案者成果に焦点を当てております。企業内リードユーザーが発案したという表記が、消費者の購買意向にどのような影響を及ぼすかを考察するものになります。

実務面において、利便性の高さから EC 販売の存在感が増す一方で、リアル店舗の位置付けが見直されつつあります。中でもそこで働く店舗販売員の役割は通常の接客や販売業務だけでなく、新製品開発に参画し顧客の意見を反映することや、SNS を活用し顧客に情報発信を行うことなど、開発からプロモーションまで幅広くなっております。このように小売店舗販売員のイノベーションへの貢献を明らかにし、研究を拡張していくことは実務的にも非常に意義のあることだと考えております。

最後に、自身が大学院に進むきっかけを作ってください、現在の指導教員でもある法政大学の西川英彦先生には懇切丁寧にご指導いただいております。改めてこの場をお借りして感謝を申し上げます。また、法政大学経営学研究科の先生方、西川ゼミの皆様にも貴重な意見を常日頃いただいております。感謝しております。今後も研究を続け、審査委員の先生方からいただきましたご助言を踏まえて論文にまとめ上げ、学術的な貢献をしていけるように精進して参ります。学会の先生方からも引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、今後とも何卒よろしくご厚意申し上げます。

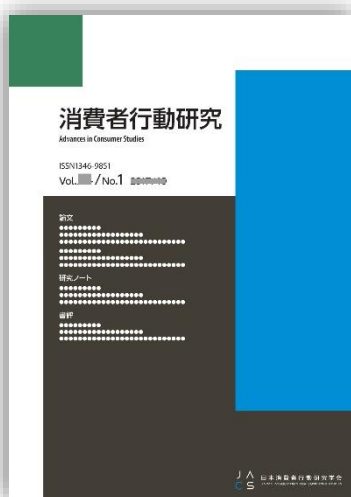
10月2日より「特集論文(第3期)」公募を開始いたします テーマは「日本の消費者と消費者行動研究」です

『消費者行動研究』の特別号(2024年刊行予定)に掲載する特集論文を、来る10月2日より受付開始します。研究者・大学院生の方々からの多数のご応募を期待します。
※詳しくは、学会 Website [コンファレンス] > [特集論文募集] をご覧ください。

学会誌表紙がリニューアルされました！

2022年度より JACS 新ロゴが採用されたことを機に、学会誌「消費者行動研究」の表紙デザインも一新することが決まり、第65回コンファレンス会期中の会員総会にて表紙デザイン案の投票が行われました。

JACS の新ロゴカラーである青色とニュアンスのある黒色をベースに、1号は「緑色」、2号は「黄色」を配色したデザインに決定いたしました。



<1号表紙>



<1号裏表紙>



<2号表紙>

論文投稿システム リニューアルのお知らせ

現在、「論文投稿システム」のリニューアルを行っております。公開時期など詳細につきましては、第66回コンファレンス会期中の「会員総会」にてご報告予定です。

リニューアルが完了しましたら、次号ニューズレター、および会員向けメーリングリスト、学会 Website にてご案内をいたします。よろしくお願いいたします。

(当面は、現行システムと併用予定)

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお、会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。

JACS Website

(<https://www.jacs.gr.jp/admit/#change>) からご自身でも直接変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は

学会 Website (<https://www.jacs.gr.jp/admit/>)
入会案内から入会申請を行ってください。

●入会資格

[学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部科学省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。

但し、学術会員 1 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●入会規定 <https://www.jacs.gr.jp/admit/>

●年会費

※令和 3 年度（2021 年度）より

[学術会員] 12,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

★法人会員には会員特典がございます。

詳しくは学会 Website

「賛助会員：会員特典」をご覧ください。

●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事務局） 明治学院大学経済学部 大竹光寿研究室
〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37
Email: jacs.assist@gmail.com

（事務取扱） 日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 / Fax: 03-5981-6012
Email: jacs@asas-mail.jp



<JACS Website>

<https://www.jacs.gr.jp>